

麦・水稻の生育と管理

令和7年5月号
宇佐市農政課
大分県北部振興局集落営農・水田畑地化第一班



麦の適期収穫を！

◎品質向上のために適期収穫を！

今年は2～3月の気温が平年よりやや低く推移したことから、4月上旬での生育は平年よりやや遅い状況です。しかし、今後、気温が平年より高くなれば、収穫適期も早まるので、注意が必要です。

収穫適期の目安は、成熟期から2～4日後です。

穀粒水分の目安は、水分含有量25%以下です。

成熟期以降、二条大麦、裸麦は好天では1日で穀粒水分が3～6%低下します。

小麦で1日2～3%低下します。収穫適期が短いため注意しましょう。

HPにカラー版を掲載しています
(毎月1日更新)



収穫適期の大麦

- 早刈り → ・ 減収・乾燥費増大・品質低下
- 遅刈り → ・ 倒伏等による減収
・ 穂発芽等による品質低下



適期に
収穫しないと
損だなあ

成熟期の判断基準

麦種	出穂期からの日数	外観による判断
小麦	45～50日程度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全穂の80%で粒の緑色が消えツメ跡がわずかにつくロウソクくらいの固さ ・ 穂首部分が黄化する
裸麦	40日程度	
大麦	37～42日程度	

【出穂期】
全茎の40～50%が「穂先が少しでもでた状態」となった日

◎収穫時の降雨について

- ・ 麦は成熟期以降に降雨を受けると、品質低下、穂発芽・退色・かび等の発生を招きます。
- ・ 雨が予想される場合は、できる限り降雨前に収穫しましょう。

Q. 収穫はどれくらい前倒しできるのか？

A. 収穫適期の2～4日前が前倒しの限度です。穀粒水分は30～35%程度です。

◎収穫時の注意点

- ・ 倒伏、穂発芽、赤かび病の発生した圃場は別収穫しましょう。
- ・ 雑草は収穫前に手取り除草しましょう。とくに**カラスノエンドウ**はしっかり取り除いてください。



カラスノエンドウ



穂発芽

はだか麦新品種「ハルアカネ」の収穫適期の注意点について

・ はだか麦はR7年産（R6年播種）でハルアカネに全面転換となりました。

収穫適期は成熟期から約5日後（穂が湾曲を始める時期）をです。品質維持のためにも、適期収穫をお願いします。



成熟後5日

裏面へ

水稲 苗半作～良い米は苗作りから～

◎良い苗の条件

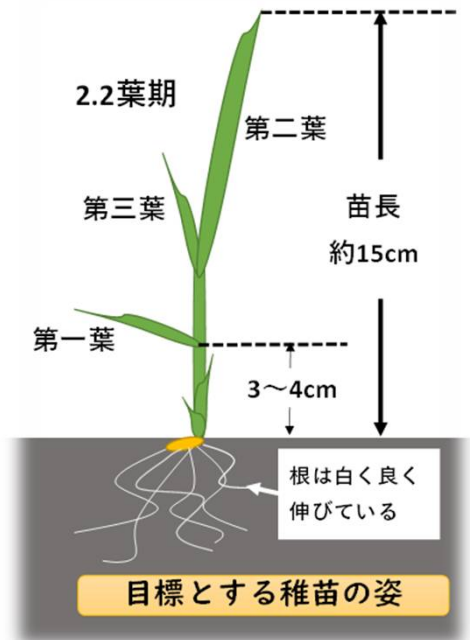
- ① ずんぐりして発根力に優れ活着が良いこと
- ② 生育が揃い病虫害の発生がないこと
- ③ 根量が多く、マット形成がしっかりしていること
- ④ 下葉の枯れ上がりや葉先枯れがないこと

◎良い苗作りのポイント

① 塩水選

- ・ 塩水に沈んだ発芽の良い籾を種籾として選別しましょう。
- ・ 選別後は十分水洗いし塩分を取り除いてください。

米の種類	比重	使用量 (水20Lあたり)	
		食塩	硫安
うるち	1.13	4.0kg	5.8kg
もち	1.08	2.4kg	3.2kg



② 種子消毒 病虫害による被害を抑えるため種子消毒を必ず行いましょう。

ア、薬剤による消毒

薬剤(混用)	使用量 (水20Lあたり)	適用病虫害名	使用方法
スミチオン乳剤	20cc	イネシンガレセンチュウ	24時間
テクリードCフロアブル	100cc	もみ枯細菌病、ばか苗病、いもち病	種子浸漬

イ、温湯消毒 60℃のお湯に10分間浸漬する。浸漬終了後、すぐに流水で冷却する。

③ 浸種・催芽

- ・ 水量は種籾の2倍以上、種籾は網袋の7割程度が上限
 - ▶ 水槽内の籾が多過ぎると酸欠になります！
- ・ 水は原則として水道水を使用し、毎日交換
 - ▶ 浸種中の掛け流しは消毒効果を損ねるためやめましょう！
- ・ 浸種日数 = $100^{\circ}\text{C} \div \text{水温} (10 \sim 15^{\circ}\text{C})$
 - ▶ 直射日光の当たらない場所に置きましょう！
- ・ 鳩胸状態となったら催芽は完了

【温度管理】

1. 出芽期 (適温30～32℃)

緑化開始まで (幼芽長5～10mm)
 高温では出芽不良、病虫害発生
 段積み中の高温に注意！
 低温では出芽遅延、かび・障害発生

2. 緑化期 (適温22～25℃)

光を当て、葉緑素を作る (苗長3～4cm)

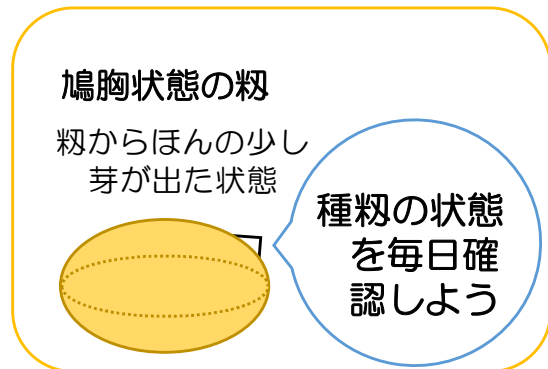
3. 硬化期 (12℃以下にしない)

硬化開始から移植5～6日前までの期間で温度を徐々に下げ外気温に慣れさせる。
 この期間で目標の葉齢、苗長まで育てる。

【水管理】

灌水は午前と午後の2回が基本！

- ① 午前中 (10時頃) の気温上昇時にたっぷり灌水
- ② 午後 (13～14時頃) は床土の表面が乾いていたら灌水
 ※夕方の灌水はひかえましょう
控えめな灌水を心がけましょう！
 過剰な灌水は根張りを悪くし、軟弱で徒長した苗になります。



◎漏生イネ対策 (飼料用米から主食用米への転換)

昨年、飼料用米を栽培していた圃場では、収穫時に圃場に落ちたモミが出芽し、後作と混ざる可能性があります。混入防止の観点から、飼料用米の後は主食用米を作付けしないのが基本ですが、ブタクロールやプレチラクロール等有効成分を含む除草剤を代掻き時に処理する(登録がとれているもの) ことで混入低減に効果的とされています。